

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊 隊址会
岩見沢市日ノ出台2-7
岩見沢市日ノ出台350
北海道空知郡岩見沢市
印 刷 所 北海道印刷局
空知印刷所 最上350
TEL (0126) 45-2721

第12施設群長兼駐屯地司令 二戸俊一 1佐着任

感謝 貢献 即応



多田紀幸一佐は富士学校
管理部長として御栄転

（着任の辞）

團長からご紹介のあったとおり、部隊・機関の勤務を通じ、最高の職に補せられたものと心から感謝申し上げます。

團長検閲を二ヵ月後に控え、各部隊はそれぞれ行き足がついていることであり、歴代群長が営々として築き上げてきた第12施設群の練度を落とすことなく、目標奪取に向かっていること、目下進捗していること、そして、せつかくの機会であり、諸君達を前に私が信じているところを述べ、着任の辞として参りたい。

昨日、千歳の演習場に予備自衛官の射撃を見に、恵庭の演習場に新隊員教育を見せられて来た。人間それぞれにここまで来るにはいろいろな選択

があったと思う。

自衛隊に入るといふのは大きな選択だ。陸上自衛官になるというのも選択であり、施設科隊員になるのも、岩見沢に来るのも選択である。我々全員が人生の大きな選択をしたが、ここへ集まってきたわけだ。我々一人一人がかけがえのない選択をしてきたわけだ。これを基本的な出発点として、私は以下三つの点を自分の職務を遂行するに当たっての方針として参りたい。

一つは「個人の充実」である。我々は部隊として任務を達成する。しかしながら、部隊という組織は一人一人の個人が充実していなければ、任務を達成することはできない。個人的な幸福の追求と個人の充実とは違う。しかし、各人の家庭が円満幸福で、あるいは自分なりの人生目標をもって達成に努力している時は個人が充実している時であると信ずる。私は、そういう君達一人一人に手を貸して参りたい。

一方、我々は国から力を与えられた武装集団である。国民の生命財産を守るのは国家公務員に当然与えられた責任であり、これに加えさらに自衛官として自衛隊として、国の平和と独立を守って行かなければならない使命がある。

その上で何が大事かとなると「即応」、即応体制を常に維持することである。我々の任務は、もはや北海道の防衛警備にとどまらず、日本全国に災害派遣することも、あるいはカンボディアのような内戦、サイールのような難民に窮している国々へ支援に行くことも求められるような即応体制を維持していくことが、国民の我々に対する期待であると捉えてもらいたい。

☆新群長のプロフィール

一等陸佐 二戸 俊一

昭和25年東京都出身
防衛大学 第17期(土木)

☆ 主要経歴

48・10 第103建設大隊

56・10 第10施設群(船岡)

58・8 米陸軍工兵学校学生

60・8 指揮幕僚課程学生

62・3 第一施設団訓練班班長

63・8 陸上幕僚長付副官

1・8 陸軍調査第一課

2・12 英陸軍参謀大学学生

4・6 幹部学校戦術教官

5・6 防衛駐在官(米国)

趣味 温泉巡り、鉄道旅行

最後に岩見沢駐屯地司令としての指針を述べたい。

三つ掲げている。「感謝・貢献・即応」である。

最後に岩見沢駐屯地司令としての指針を述べたい。三つ掲げている。「感謝・貢献・即応」である。空を見てみよう。ものすごくいい天気だ。私はお天道様に感謝している。周囲を見ても、緑も綺麗な。この豊かな自然の中で十分訓練できる機会を与えてくれる土地に感謝している。そして、ここに集まっている皆の真剣な眼差しを見ると、皆の一人一人に対して感謝の気持ちで一杯だ。

同様のことが駐屯地の中についても言える。

第12施設群は業務諸隊に感謝し、業務諸隊は第12施設群に感謝し、駐屯地は地元

に、自衛隊は国に、日本は世界に感謝するという気持ちが大事である。その感謝の念を端的に表すのは「貢献」である。

「業務諸隊は群のために何をやる。業務諸隊は群のために何をやる。我部隊として日本のために、あるいは世界のために何をやる。その心意気やっていきたい。そのそれぞれを裏付けるのは、即応である。

火事が起き地震が起き、人命が、国家が危険にさらされている時、我々は、とるものもとりあえず、出ていこうではないか。

駐屯地創立43周年 第12施設群創隊21周年 記念行事

岩見沢駐屯地では九月八日、自衛隊協力会岩見沢地区連合会(会長 笠原善平治氏)及び隊友会岩見沢支部(支部長 長崎進氏)の共催で、駐屯地創立四十三周年、第十二施設群創隊二十一年の記念行事を挙行政した。

記念式典は前日米の雨もあがりさわやかな秋空のもと行われ、小平忠正衆議院議員はじめ能勢邦之岩見沢市長等多数の来賓の列席のもと、約二千名の市民が来隊し盛大に行われた。

最初に二戸司令が式辞で「皆様の部隊として親閲していただくことは、私どもの誇りであり、大きな喜びであります。四十三年間にわたり私どもを育んでいただいた皆様様に、南空知の大地に、大空に、感謝いたします」と述べた。

来賓の祝辞、祝電披露等の後、親閲行進では各中隊が車両行進を行い、今春入隊した新隊員も隊列の先頭をつとめ堂々の徒歩行進を披露した。

この後、第七音楽隊による演奏会、訓練展示ではレジンカーによるヘリからの降下、各種のロープ渡りの披露、自走架柱橋の架設、また導入されたばかりの坑道掘削装置を動作させての展示説明は、特に来場者の関心を引いた。

また、曹友会が担当したミニ二列車の運転・エアートランポリン・ジープ試乗・74式戦車試乗は最新の装備品展示と併せて、家族連れの人気を集めて長い列ができていた。



隊友会岩見沢支部

『強存強栄』の世の中



現職 南支那地方石油業協同組合 常務理事 隊友会 岩見沢支部長 長崎 進

本日は、私が勤めている関係から石油状況について、触れてみたいと思います。

一 石油のあらましについて
我が国の一九九一年度で、一次エネルギー供給比率は、石油が五七％、石炭一七％、天然ガス一％、原子力二〇％、水力約五％とされている。このようにエネルギーの石油依存度は、今後ますます高まっていくことであろう。

一九七三年一〇月の第四次中東戦争では、原油価格が急激に高騰し、その結果、石油依存度の高い我が国では経済的混乱を被りました。これが第一次石油危機である。

この経験を元に石油の安定供給のための体制作りが行われ、「石油備蓄法」の重要性が改めて認識され民間備蓄が義務付けられた。また、国も備蓄をスタートさせた。

義務水準は、七〇日分となつていますが、現在では民間及び国で約一四五日分を備蓄している。

我が国は、石油輸入国であり九七％を輸入している。石油の供給に支障が生ずるよ

うなことが起こると、国民生活や産業活動に重大な影響を及ぼすことになる。

このため、国の安全保障という観点から、石油の備蓄は、我が国のエネルギー対策の重要な施策の一つとなつてい

る。今後一〇年間を見通すと、世界の人口増、中、長期的な石油需給は必ずしも楽観視できない状況と言われ、世界の石油需給のペースで増大することが予想されている。

二 規制緩和について
本年四月から石油業法が改正されて、規制が緩和されたことからガソリンが急激な値下がりとなった。しかし一方軽油や灯油については値上がりしている。

これは、今まで卸売仕切価格がガソリンを主として高くするような国の施策によるもので、今回の規制緩和によりガソリン、軽油、灯油の卸売仕切価格が外国並みに平準化されたためである。

三 強存強栄の世の中
ご案内のように、規制が緩和されたために、大型店の進出が目立ち、今まで「共存共栄」の商売でお互いに助け合いつつ経済基盤を守ってきた石油商店環境も、あつていつの間にか赤字経営に陥りつつあるのが現実であり、強存強栄の「弱肉強食」的な満利多売の商業へと変化し厳しい情勢で推移してきている。

四 税金について
ガソリン五三円八〇銭、軽油三三円一〇銭、消費税三％となつておりガソリン価格等の約五〇％以上が税金になつ

ている。

来年四月から消費税が五％になればガソリンは今より約一円上がる計算になる。ガソリン等には、税金の上

に税金を掛ける単純併課になつてくるため、このように消費税アップが上がるにつれて消費者の皆さんにかかる負担も一層高くなってきます。

今、政府に働きかけてこのような税金の掛け方をしないように、署名活動やチラシ配布を行い努力しているところ

『OBの奮闘記』



(サンライフ岩見沢) 事務局次長兼所長 竹本 重幸

仕事はいつも精神に「張り」と若さ」を与えてくれます。私は昭和六十二年十月日衛隊を定年となり、同月、J.R.岩見沢駅前の有明町に「岩見沢市シルバー人材センター・岩見沢中高年齢者福祉センター(サンライフ岩見沢)」が新しく設立した事を機に、タイムリ

ング良く就職し、早九年になります。

当初から事務局次長兼所長としての重責を受け、前例のない全く新しい業務を毎日毎日暗中模索しながら携わってきた。このたびは、はからずも投稿を依頼されたので、この九年間を振り返り、些かでも隊友各位の心の励みになればと思ふペンをとりました。

職員は理事長以下七人で朝出勤し、自分の机に着くや否や、電話が次々にけたた

ましくなり、またセンター利用者や入会希望者の人達が列をなして待っており職員全員でその対応にテンテコマイの毎日でした。それでも一人ひとりにきちんと対応し、懸命に頑張った事が今でもはつきりと懐かしく脳裏に浮かびま

す。設立当時は、会員数が百十三人で、市内の主な企業から仕事依頼についての資料を受け

けていたので、就業依頼件数はかなり多く、筆耕業務から一般家庭の家事援助サービスまで、いろんな内容の業務が一日二十件近くの要請があつ

た。私の仕事は、その多種多様な仕事の要請に対し、会員の誰が適任かを会員カードで探し出すことです。この事を「発掘」と称し、大変気を遣う仕事でした。

散えて「発掘」と称したのは、まさに就業会員探しが遺跡の「発掘」と同じで根気のいる作業だったからである。なにしろ、発掘探しの資料は、手元にある会員カードのみで、顔写真や健康状態も分かりません。一枚の会員カードから仕事の技量と人柄を推測し、自分自身の直感を信じて、OKしてくれば良いがなあ！と期待と不安を抱きながら会員に就業依頼の電話をするわけです。ところが、私のそうした心配はやがて杞憂に終わることになりました。

会員さんに仕事の内容、依頼先等を説明したら、なんとこころ良く、「の字で「はい」と返事が返ってきました。その瞬間まで「出来ません」と断られるかと胸がつかえる

気持ちでいましたので「はい」の返事でどんなにか安堵したことが。一案するより確むが易し」とはこの事かと受話器に向かって深々と頭を下げ、電話を切りました。

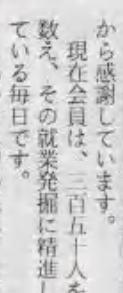
会員の皆さんは永年の英知と経験を生かしてと堅持しており、立派な人格者ばかりで依頼人の期待と私達の心境を暗黙の内に悟って下さった温情に、どれほど助けられ励まされたことが、はかり知れません。今、ひとり静かに振り返ってみますと暗中模索の仕事ばかりであったが、これまでに続けてこられたのも一頑張りやの会員さんのおかげと心から感謝しています。

現在会員は、三百五十人を数え、その就業発掘に精進している毎日です。

これからは初心忘れずの精神と自衛隊で培った根性そして私に係わるまわりの方々に對する感謝の気持ちをもつて更に頑張っていくつもりです。

隊友各位の更なるご健闘を祈念します。

「感動」



現 西川繊維株式会社勤務 田中 久

「感動」それは、人間の心を最も価値ある表現した言葉である。

私は、カーペット、カーテンをはじめとして、インテリア

ア繊維商品を全国のお客様に提供する会社で仕事をしているが、会社の経営理念である経営憲章の中に「人間とは、人間らしさとは、芸術的感動を味わう喜びの中にある。」

そのためには、常に変化を消費するニーズにフィットする魅力ある商品を創意工夫していかなければならない。とある。

自社の商品をより多く買って欲しいという心根の表われとはいえず、芸術的感動を味わう喜び、とは随分、おかげさな言葉だなと思いつつも、この憲章に出逢ってから人間の喜びについて考えるようになった。芸術的感動とは、辞書によると、美しきものに深く感じ、心が動かされることある。

今まではそれなりの代価で求めなければ感動を味わえないと思っていたが、考えてみると、日々の生活の繰り返しの周りには、感動を味わう喜びに出逢うことが沢山あることに気付いたのである。

人間老いるにつれ、脳細胞の退化で感動しなくなると聞くが、木々の緑や名もない一輪の花にも今までは違った見方をすれば、脳細胞の退化防止になり、新たな感動が満ちた心の晴れ晴れしさを味わうことが出来ると思う。

発想を変え、いつも新鮮さを保つことも人生をより楽しく過ごす自我意識が大切と思う。今日も又、お客様に発送する準備をしながら、この商品が消費者のニーズにフィットし、芸術的感動を味わいながら、喜んで載けたらと願いながら、一品一品車に積み込み、見送る際の心境は、まさに「感動」ともいえる別れの瞬間であ

る。

オール電化マンション
レジエントイ
(有) エイ
連絡先: 岩見沢市6条西7丁目
☎ 22-0087

総 合 商 社
株式会社 **君 島 商 会**

□ 本 社	岩見沢市南町8条2丁目	☎ 22-4613
□ 支 店	岩見沢市支店本町2条3丁目	☎ 22-5813
□ 支 店	栗 沢 町 本 町 1 0	☎ 45-2068
□ 支 店	岩見沢市南町9条2丁目	☎ 22-4595
□ 支 店	岩見沢市南町9条2丁目	☎ 22-6434
□ 支 店	岩見沢市南町9条2丁目	☎ 22-7851
□ 支 店	岩見沢市南町6条2丁目	☎ 24-6390
□ 支 店	岩見沢市南町8条2丁目	☎ 25-4840

はしもと商事株式会社
人材派遣業・メンテナンスに関する事なら
親切・丁寧・確実

岩見沢市駒園5丁目6
TEL・FAX (0126)
22-5546
栗沢営業所/栗沢町北本町7番地
☎ (0126) 45-3920

団長訓練検閲目前

第十二施設群は団長訓練検閲の受閲を間近に控え、8月下旬及び九月下旬の二度にわたり群総合練成訓練を、北海道大演習場恵庭地区をはじめ、島松及び近文台演習場において実施した。

本訓練間、「要部の確保」、「人員器材の掌握」及び「夜間行動の規律維持」の三点を着眼に訓練を実施した。

第二次総合練成訓練は、副群長を長とする七名の統裁部と群長以下三百七十二名の演習部隊との戦いであった。三夜四日の連続状況下の中、敵の航空攻撃有り、ガス攻撃有り及びゲリラ攻撃有りの厳しい条件のもと、各中隊は整齊と任務を遂行しそれぞれの与えられた任務を完遂した。

掩体の構築については、団長訓練視察時、団長から「指導があった」「位置の選定」を



焦点に「切盛均衡」「原地形への連接」を重視し練成を実施した。また、構築物については、単に構築物を作るのではなく、常に被支援部隊の使用を考慮した立場にたって、構築すること、障害構成についても、単に地雷敷設置装置を動かすだけでなく、被支援部隊の要求にあった密度を構成することを着眼に実施した。

パネル橋及びVLTBの架設については、単に橋を架設するだけでなく、施設進行指導所を設置し、車両の誘導要領及び橋梁の維持・補修要領について練成した。

団長訓練検閲までわずかなった現在、第二次総合練成訓練の不備事項を是正し、万全の態勢で検閲に臨むため最後の準備を怠りなく実施している。

予備自衛官招集訓練

駐屯地では八月一日から五日の間、予備自衛官招集訓練を実施した。

訓練には福村長作予備一尉以下他職種二十名を含む五十五名が出頭。副群長による最近の自衛隊の現況について説明を受けた後、職種訓練では、滑舟及び軽門橋の構築並びに、坑道中隊の新装備等の研修を実施し、施設科部隊の

変化に感慨を新たにしました。また、射撃検定では、現役も驚く高得点を出し成果のある五日間の招集訓練を終えた。

修了式には、隊友会支部長長崎進氏からの永年勤続者に記念品の授与と、参加者全員が満点で帰路に就いた。受賞者は次のとおり。

- 地連部長賞予備二尉福村長作
- 同 准尉渋谷幸治
- 同 曹長白石貞夫
- 射撃検定優秀者 予備三尉霧下隆徳



フォトニュースコーナー



射撃競技会 (8月20日)



北村田舎フェスティバル支援 (8月18日)



岩見沢百餅祭り支援 (9月14日~16日)



新隊員教育修了 (9月13日)

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：勝井祐輔
TEL：0126-22-3445



千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉嘉男
岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社

特定土木建築許可一級建築士事務所
取締役会長 近江章
代表取締役社長 近江雅章
本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
FAX 25-6582
支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2689
南本ビル4F FAX 643-2616
支店 三笠市南松町1丁目374 電話 2-3179

“終身保険の充実保障。”

- 三大疾病 (リビングデイズ)
- 余命6カ月前死亡保険支払
- 通院特約

東邦生命

担当 深沢隆子 (内線327)

協栄生命 LL・ワイド 1500 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料頭金制度をご利用下さい。

定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

500人収容の大宴会場から中小宴会場でお待ち申し上げております

ホテル サンブラザ

岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

盆踊り・子供キャンプ

八月八日、駐屯地盆踊り大会と八月八日・九日の二日間陸士会主催の夏休み少年少女キャンプを行った。

駐屯地盆踊り大会は周辺の子供・町内会チーム等の参加を得て盛大に行った。前半の子供盆踊りでは、ゆかた姿の可愛い子供達が、威勢のよい



少年少女キャンプ



盆踊り大会

太鼓にあわせて踊りを楽しんだ。後半の仮装盆踊りでは、各中隊・各町内会からユニークな仮装のチーム・個人がパフォーマンスを繰り広げた。一方、少年少女キャンプは市内の小学生男女あわせて三十五名が参加した。

このキャンプを楽しみに駐屯地に集合した子供達は、早速各班に分かれて虫取り網を片手に昆虫採集や、もみじ池での渡河ボートによるボート遊びに繰り出した。

夕食はジンギスカンに舌鼓をうち、子供盆踊りに参加したり、花火をしたりと夜遅くまでしゃしゃいっていた。

永年の勤務

〓苦勞様でした

第三三五施設中隊
三尉 石井 増美
就職先 しんきん
ビジネスサービス



10月8日付

人事往来

◎転出

【第十二施設群】
本部管理中隊

曹長 戸之口 宏行 岩見沢 105 器隊

三曹 高橋 進一 岩見沢 105 器隊

第三三五施設中隊

一曹 阿部 誠 岩見沢 105 器隊

第三三六施設中隊

三曹 安尾 行弘 10 施大

二曹 角沖 淳一 2 施群

士長 清水 通泰 北見 警務

第三三七施設中隊

一尉 大足 卓也 施設校

二曹 番井 薫 岩見沢 1 施群

第三四二施設中隊

三曹 岡村 琢也 5 施大

二曹 西村 康彦 岩見沢 5 施大

第三二施設器材中隊

一尉 相笠 康雄 施設校

二曹 荒井 朝成 岩見沢 303 夕中

二曹 山下 光喜 2 施群

二曹 丹部 弘勝 2 施群

【業務隊】
曹長 小笠原 晶雄 12 施群

一曹 藤井 幸雄 12 施群

一曹 八木 橋 豊 12 施群

三曹 澤原 智 12 施群

【会計隊】
一尉 藤原 隆 北方 総 概

一尉 山上 典之 美 川

【基地通信隊】
一曹 小山田 由恵 滝 川

【警務隊】
一尉 吉越 淳一 札 幌

◎転入

【第十二施設群】
本部管理中隊

曹長 小笠原 晶雄 岩見沢 105 器隊

一曹 岸井 三男 美 川

一曹 藤丸 浩見 105 器隊

第三三五施設中隊

一曹 八木 橋 豊 岩見沢 105 器隊

第三三六施設中隊

一曹 勉 義裕 8 施大

三曹 澤原 智 岩見沢 8 施大

第三三七施設中隊

一尉 佐藤 光晴 6 施大

二曹 金田 浩之 105 器隊

三曹 大宮 新一 13 施群

第三四二施設中隊

二曹 登立 光洋 2 施大

第三二施設器材中隊

一尉 齋藤 貢広 5 施大

一曹 藤井 幸雄 岩見沢 1 施群

二曹 前田 慎司 105 器隊

士長 藤丸 睦 105 器隊

【業務隊】
曹長 戸之口 宏行 12 施群

一曹 阿部 誠 12 施群

一曹 荒井 朝成 12 施群

二曹 西村 康彦 12 施群

三曹 永井 智 1 施群

【会計隊】
一尉 荒井 久生 北地 補 概

三尉 運天 常嗣 札 幌

【基地通信隊】
一曹 相川 優則 函 館

【警務隊】
一尉 清水 浩行 仙 台

結婚おめでとう



6月26日



7月20日

第三三五施設中隊
二曹 奥田 浩一
直美さん

第三三七施設中隊
三曹 三好 博之
珠美さん

おしゃれの店
洋品の **マルカワ**
高橋 邦夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224

H
株式会社 **本堂建設工業**
本社 〒068-21 TEL 010267-2-7300
三笠市岡山3-5-9 番地1 FAX 01267-2-5858
札幌支店 〒000-3 TEL 011-861-1361
札幌市白石区本通り南1の8 FAX 011-865-5034
石狩支店 〒061-32 TEL 0133-73-2111
石狩市花川南1条1丁目 FAX 0133-73-0757

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL23-5142

宝 石 創業88年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126 223353 223354

人としての
時代としての
モニュメントを大切に
有限会社 渡辺石材工業
■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
TEL (0126)25-2545・FAX (0126)23-4567

二人の時間を刻みたい
Iwamizawa Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143